



## (2) 各事業・取組の実績

平成 22 年度の事業・取組の具体的な内容や効果を、写真、図表等を用いて説明します。なお、関連性の強い事業については、まとめて示しています。

### ア 樹林地を守る


1	緑地保全制度等の拡充	・：事業費のないもの
---	------------	------------

- 特別緑地保全地区や源流の森の指定面積を、5,000 m<sup>2</sup>以上から 1,000 m<sup>2</sup>以上へ引き下げ、平成 21 年度より運用しています。
- 土地所有者ができるだけ緑地を持ち続けられるよう、新たな緑地保全制度の導入に向けた検討を進めます。

平成 22 年度の実績	<年度目標>
 市民緑地の具体策について検討・調整し、制度活用の方 方向性を定めた	制度案策定
 管理協定の導入を検討	

2	篤志の奨励制度	・：事業費のないもの
---	---------	------------

- 公開に協力いただいた土地所有者の厚意に対し、謝意を表する看板を設置するなど、顕彰する制度の検討を進めます。

平成 22 年度の実績	<年度目標>
 具体策について検討・調整し、制度案を策定した	制度策定

3	緑地再生・管理事業	: 拡充事業 (横浜みどり税一部充当)
4	緑地防災・安全対策事業	: 拡充事業 (横浜みどり税一部充当)

- 多様な動植物が生息する健全な森とするため、市民の森等について間伐や下草刈りなどの管理を行ないます。
- 市民の森等を市民が安全に活用できるよう、危険斜面の整備や危険樹木撤去などの管理を行ないます。
- 緑地保存地区等における危険樹木撤去や支障樹木の伐採について助成を行います。

平成 22 年度の実績		< 年度目標 >
【3 緑地再生・管理事業】		
🌲 市民の森等での間伐や下草刈り	126.3ha (43 箇所)	186.6ha
【4 緑地防災・安全対策事業】		
🌲 市民の森等での危険樹木の撤去等	44 箇所	外周樹木撤去等
🌲 市民の森等の斜面地での防災対策工事	2 箇所	1 箇所
【3 緑地再生・管理事業】、【4 緑地防災・安全対策事業】		
🌲 緑地保全制度に指定している 非公開の私有樹林地の管理助成	74 件	推進

**緑地再生・管理**

- ・市民の森等における間伐や下草刈りについて、43 の樹林地（126.3ha）で実施しました。

**危険樹木撤去等**

- ・市民の森等における危険樹木撤去について、44 の樹林地で実施しました。

**危険斜面整備**

- ・対応が必要な危険斜面について、上中里緑地（磯子区）、六浦緑地（金沢区）の 2 箇所で整備を行いました。

**樹林地維持管理助成**

- ・緑地保存地区等の緑地保全制度に指定している非公開の私有樹林地に対して維持管理費用を 74 件助成しました。

**【助成制度を利用した人の声】**

- ・周辺の人から、見通しが良くなり、安全になったと感謝されました。
- ・伐採経費が捻出できず悩んでいたのですが、助成があり安心しました。



写真 市民の森での再生作業  
(旭区/追分市民の森)

5	市民協働による緑地維持管理事業	: 拡充事業 (横浜みどり税一部充当)
9	景観の森・生き物の森事業	: 新規事業 (横浜みどり税充当)

- 樹林地の将来像や維持管理の考え方を定めた「保全管理計画」を、市民との協働で策定します。
- 樹林地を訪れる市民が親しめるよう、また、生き物にとって魅力的な空間となるよう植樹等を行います。

平成 22 年度の実績		< 年度目標 >
【5 市民協働による緑地維持管理事業】		
🌳	保全管理計画策定に取り組んだ市民の森等	策定：3箇所 策定中：1箇所
【9 景観の森・生き物の森事業】		
🌳	生態系に配慮した植樹等	6.3ha (2箇所)
		5ha

#### 市民協働による緑地維持管理事業

- 樹林地の将来設計である「保全管理計画」を、市民の森愛護会などとの協働により、策定に取り組みました。

策定	新治市民の森	緑区
	三保市民の森	緑区
	ウイトリッヒの森	戸塚区
策定中	瀬上市民の森	栄区

- 新治市民の森では、地域内で活動する5団体の代表からなる検討会を設置し、10回を超える議論を行い、目標とする樹林地の姿を探りました。参加者からは「21世紀の里山として、森を大事にしていければと思う」などの声があがりました。

#### 景観の森・生き物の森事業

- 追分市民の森、矢指市民の森(ともに旭区)において事業を実施しました。保全管理計画に基づき、谷戸の水路環境を守るための植樹のほか、雑木林の萌芽更新や下草刈り、落ち葉かきを愛護会と協働で行うなどし、対象地の魅力を高めることができました。

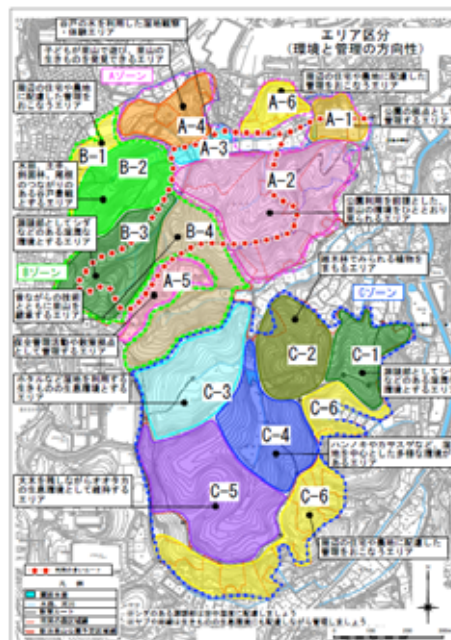


図 保全管理計画ゾーニング図  
(計画書から抜粋、  
緑区/新治市民の森)

6	森づくりリーダー等育成事業	:新規事業 (横浜みどり税充当)
---	---------------	---------------------

- 森の維持管理を市民との協働により進めるために、森にかかわる人材育成を進めます。
- 森の手入れを行う「森づくりボランティア」や、森づくりボランティアの経験者でボランティアを指導する立場の「森づくりリーダー」、森を訪れた市民に森の情報を提供し案内を行う「はまレンジャー」を育成します。

平成 22 年度の実績		< 年度目標 >
🌲	森づくりボランティア育成	50 人
🌲	森づくりリーダー育成	5 人
🌲	はまレンジャー育成	5 人

**森づくりボランティア育成**

横浜の森の現状についての講義と実際に活動を体験する講座を開催しました。

**森づくりリーダー育成**

横浜の森づくりの現在と未来を、森づくりに関わる様々な人の立場に立って意見を出し合うワークショップを開催しました。

**はまレンジャー育成**

森の情報を集めて記録する方法などについての講座を開催しました。



写真 森づくりボランティア養成講座  
(12月4日開催、保土ヶ谷区/環境活動支援センター)





写真 森づくりリーダー養成講座  
(8月21日開催、中区/平沼レストハウス)



写真 はまレンジャー養成講座  
(5月29日開催、栄区/横浜自然観察の森)

7	愛護団体活動アップ支援事業	:新規事業 (横浜みどり税充当)
8	森づくりボランティア活動助成事業	:新規事業 (横浜みどり税充当)

- 市民の森やふれあいの樹林等で森づくり活動をしている愛護団体のより積極的な活動に対して支援を行います。
- 森づくりボランティアについても、森づくり活動を自主的、計画的に進めることができるよう助成等支援を行います。

平成 22 年度の実績		< 年度目標 >
【7 愛護団体活動アップ支援事業】		
 市民の森等の森づくり愛護団体への活動支援	23 団体	50 団体
【8 森づくりボランティア活動助成事業】		
 森づくりボランティアへの活動支援	36 団体	38 団体

#### 支援内容

##### ≪ 団体活動助成 ≫

積極的な活動に対しての助成 (図)

##### ≪ 研修の開催 ≫

安全管理として救命救急講習会を実施 (写真)

##### ≪ 道具の貸出 ≫

なたやノコギリ、ポイズンリムーバー、活動広報支援として腕章や帽子の貸出

##### ≪ アドバイザー派遣 ≫

森づくりに関する悩みや相談に対しアドバイザーを派遣



図 団体活動助成の事例  
(愛護会記念誌の作成/鴨居原市民の森愛護会)



写真 救命救急講習会の様子  
(3月18日開催、中区/健康福祉支援センター)

<b>10</b>	<b>森の中のプレイパーク事業</b>	:新規事業 (横浜みどり税充当)
-----------	---------------------	---------------------

- 子どもたちが木とふれあい、遊びを通して自然や生き物に対する理解を深め、森林環境を考える心を育てることの出来るプレイパークを、街の中と森の中で実施します。

<b>平成 22 年度の実績</b>	<b>&lt; 年度目標 &gt;</b>
街の中のプレイパークイベント	6 箇所
森の中のプレイパークイベント	1 箇所

**街の中のプレイパーク 6 箇所 参加者 166 人**

場所	区	参加人数
桂台小学校	栄	55 人
港南図書館	港南	21 人
旭図書館	旭	23 人
栄図書館	栄	19 人
金沢図書館	金沢	34 人
保土ヶ谷図書館	保土ヶ谷	14 人

**<参加者の声>**

- ・自然の中からヒントになるものを探すのが楽しかったです。
- ・学校にもケヤキやポプラの木があるか調べたいと思いました。

**森の中のプレイパーク 1 箇所 参加者 29 人**

場所	区	参加人数
鶴ヶ峰ふれあいの樹林	旭	29 人

**<参加者の声>**

- ・地域の中にある樹林をもっと活用したいと思いました。
- ・落ち葉の感触が確かめられとても楽しかったです。
- ・子ども達が遊ぶフィールドをととても気を使い整備を進めました。(愛護会)。



写真 森の中のプレイパークの様子  
落ち葉の感触を確かめる  
(12月4日開催、旭区/鶴ヶ峰ふれあいの樹林)



写真  
街の中のプレイパークの様子  
(1月29日開催、保土ヶ谷区/保土ヶ谷図書館)  
グループに分かれて木の特徴を探し、図書館で調べもの学習を行った

11	森の収穫物体験事業	:新規事業 (横浜みどり税充当)
12	里山ライフ体験事業	:新規事業 (横浜みどり税充当)

- 森の恵みを知り感謝の気持ちを育むことを目的に、収穫と活用を体験できる催し等を開催します。
- 里山の成り立ちや自然と文化を知ることを目的に、農村の生活体験のできる古民家等を活用した体験型の催しを開催します。

平成 22 年度の実績	< 年度目標 >	
【11 森の収穫物体験事業】		
森の収穫物を楽しむ体験型イベント	1 回 (36 人)	4 回
【12 里山ライフ体験事業】		
里山の自然や文化を体験するイベント	4 回 (592 人)	4 回

森の収穫物体験事業 1回実施 参加者 36人

- ・春の七草観察と七草粥体験

平成 23 年 1 月 9 日 天王森泉公園 (泉区)

里山ライフ体験事業 4回実施 参加者 592人

- ・ため池のかいぼり体験と生き物調べ

平成 22 年 9 月 25 日 舞岡公園 (戸塚区)

- ・古民家でみどりアップ PR パフォーマンス

平成 22 年 12 月 19 日 長屋門公園(瀬谷区)

- ・春の七草鉢づくり

平成 22 年 12 月 11 日 天王森泉公園(泉区)

- ・竹の間伐体験と竹の器作り

平成 23 年 2 月 5 日

新治里山交流センター・新治市民の森 (緑区)

#### 受講者の声

- ・子ども達が自然と触れあえる良い内容でした。
- ・家ではできない経験を地域の方と楽しめてよかったです。
- ・失われていく自然や風習を残すことは大事なことで、続けてほしいです。
- ・間伐の指導が丁寧で、楽しく作業できました。



写真 ため池のかいぼりと生き物調べ  
(9月25日開催、戸塚区/舞岡公園)



写真 古民家のイベントでのみどりアップ PR  
(12月19日開催、瀬谷区/長屋門公園)



写真 田んぼでの七草摘み体験  
(1月9日開催、泉区/天王森泉公園)

<b>13</b>	<b>健康の森事業</b>	:新規事業 (横浜みどり税充当)
-----------	---------------	---------------------

- 市民の森等の樹林地をコースに組み込んだ健康ツアーなどを各種団体等と連携し実施します。

平成 22 年度の実績	< 年度目標 >	
🌲 ウォーキングツアー等	13 回	18 回

**ウォーキングツアー等の実施**

緑に親しむことにより、樹林地の保全に対する関心・理解を深め、あわせて市民の健康増進を図るため、ウォーキングツアーを実施しました。

また、既存施設とガイドマップを活用したスタンプラリーを行いました。



写真 ウォーキングツアーの様子  
(12月7日開催、戸塚区/舞岡公園)



図 よこはま南の森スタンプラリー帳  
(11月~2月開催、栄区・金沢区)



写真 ウォーキングツアーの様子  
(10月3日開催、中区/根岸森林公園)

**参加者の声**

- ・ 空気や土や木の香りが感じられてとても気持ちよかったです。
- ・ 森へ関心を深めることができました。
- ・ 横浜にも自然がたくさんあることが分かりました。



14 横浜の森の自然・生き物情報発信事業

:新規事業  
(横浜みどり税充当)

- 市民の森等の周知・利活用促進を図るため、自然・生き物情報をパンフレットで提供します。

平成 22 年度の実績		<年度目標>
🌿 ガイドマップ作成	4 地域	推進

事業概要

ウォーキングなどの散策にも活用できるよう、4つの地域で近接する市民の森、ふれあいの樹林の自然・生き物情報や距離を示したルート情報を1枚のパンフレットにまとめました。

- ・ 荒井沢・上郷市民の森
- ・ 寺家ふるさとの森・もえぎ野ふれあいの樹林
- ・ 小机城址・鴨居原市民の森
- ・ 豊頭寺市民の森



図 上郷市民の森・荒井沢市民の森のパンフレット  
( 駅からの案内を表記 )

図 上郷市民の森・荒井沢市民の森のパンフレット  
( 主要な施設や高低差を表示 )



15	みどりの夢かなえます事業	:新規事業 (横浜みどり税充当)
----	--------------	---------------------

- 樹林地の保全に関する活動をしている団体から樹林地の保全と利活用に資する提案を募集し、優れた提案の実施を支援することで、市民協働による樹林地の保全を推進します。

平成 22 年度の実績	< 年度目標 >	
森づくり団体からの提案に対する実施支援	4 件	3 件

平成 22 年度は、4 月より募集を開始、6 月に提案募集を締め切り、4 件の事業提案がありました。6 月のみどりの夢かなえます事業選考委員会において、審査を行い、4 件の事業を決定しました。

	助成事業	団体
1	小机城址市民の森竹灯籠まつり ・10月31日実施	日本の竹ファンクラブ
2	市民による「森を知る・触れ合う・育む」学びあいネットワーク構築事業 ・プログラムデザイン講座（11月1日～2日実施） ・森づくり意見交換会（2月11日実施）	NPO 法人よこはま里山研究所
3	新治の里山・セルフガイドシステム構築事業	NPO 法人新治里山「わ」を広げる会
4	イベント「樹木医と瀬上を歩く」シンポジウム「瀬上の未来をみんなで考えよう！」及び現地調査 ・「台湾リスによる被害状況」の実施 ・樹木医と瀬上を歩くイベント（11月30日実施） ・瀬上の未来をみんなでかんがえようシンポジウム（3月21日実施）	縄文自然クラブ



写真 樹木医と瀬上を歩こう  
(11月30日開催、栄区/縄文自然クラブ)



写真 小机城址市民の森竹灯籠祭り  
(10月31日開催、港北区/日本の竹ファンクラブ)

< 参加者の声 >

- ・自然のことを樹木医に解説してもらい、大変勉強になりました。(樹木医と瀬上を歩くイベント)
- ・自然のある場所を大切にしたいと思いました。(樹木医と瀬上を歩くイベント)
- ・横浜にもこんなすばらしい場所があったことを知りました。(小机城址市民の森竹灯籠まつり)

## 16 間伐材資源循環事業

: 拡充事業

(横浜みどり税一部充当)

- 市民の森やふれあいの樹林等で活動する森づくり団体が行う管理で生じた間伐材をチップ化して園路に敷く等の活動を支援し、森の手入れを促進します。

平成 22 年度の実績		< 年度目標 >
森づくり団体への間伐材チップ化作業支援	33 回	推進
間伐材チップ化リスクマネジメント研修	2 回(16 人)	

## チップ化作業支援

実施箇所	区	回数
川井特別緑地保全地区	旭	13
新治市民の森	緑	6
茅ヶ崎公園	都筑	6
関ヶ谷市民の森	金沢	4
もえぎ野ふれあいの樹林	青葉	2
瀬谷市民の森	瀬谷	2
合 計		33



写真 チップ化作業支援の様子  
(緑区/新治市民の森)



写真 チップを園路に敷きつめた状況  
(緑区/新治市民の森)

## チップ化作業を利用した愛護会の声

- ・ 間伐材が積んであると子供たちが遊んでいるときに危ないので、処理できてよかったです。
- ・ 園路に敷くとフカフカして歩いて歩きやすいです。

## 間伐材チップ化リスクマネジメント研修

- ・ 環境活動支援センター (保土ヶ谷区)
- ・ 瀬谷市民の森 (瀬谷区)


写真 間伐材チップ化リスクマネジメント  
研修の様子  
(8月28日瀬谷区/瀬谷市民の森)



17 間伐材クラフト作成事業

:新規事業  
(横浜みどり税充当)

樹林地の管理として発生する間伐材を活用することを目的に、主に子ども対象にクラフト作成ワークショップ等を開催します。

平成 22 年度の実績		< 年度目標 >
 間伐材を活用したクラフト作成イベント	7回(750人)	推進

●環境活動支援センターで園地管理から発生する竹の間伐材や剪定枝等を利用して、子ども向けのクラフト教室を市民ボランティアの協力を得て開催しました。(4回)

- ・竹間伐材の器と水鉄砲作り 平成 22 年 8 月 3 日、4 日
- ・ブドウとクズのつるかご作り 平成 23 年 1 月 29 日  
(午前・午後各 1 回実施)

●森に関わる経験の少ない市民への呼びかけとして、区民まつりや農と緑のふれあい祭り(環境活動支援センター)に参加して、竹の間伐材で器と箸づくりを行いました。(3回)

- ・保土ヶ谷区民まつり 平成 22 年 10 月 16 日
- ・栄区民まつり 平成 22 年 11 月 6 日
- ・農と緑のふれあい祭り 平成 22 年 11 月 3 日

受講者の声(受講者アンケート結果より)

- ・竹からいろんな物を作ったのが楽しかった。
- ・森のしくみがよくわかった。
- ・ふだんできない体験ができて、子ども達に良い経験になった。
- ・自然のものを利用して作るところがとても良かった。
- ・ボランティアの皆さんご苦労様です。今後も市民一体となって守っていきたいです。



写真 竹の器作り  
(8月4日開催、  
保土ヶ谷区/環境活動支援センター)



写真 つるかご作り  
(1月29日開催、  
保土ヶ谷区/環境活動支援センター)



写真 栄区民まつり  
(11月6日開催、栄区/本郷中学校)



写真 農と緑のふれあい祭り  
(11月3日開催、保土ヶ谷区  
/環境活動支援センター)



写真 保土ヶ谷区民まつり  
(10月16日開催、  
保土ヶ谷区/保土ヶ谷公園)

18	愛護会、森づくりボランティア活動拠点整備事業	:新規事業等 (横浜みどり税非充当)
19	ウェルカムセンター整備事業	:新規事業等 (横浜みどり税非充当)

- 愛護会や森づくりボランティアの活動が活性化するように、活動拠点を整備します。
- 市民が気軽に立ち寄り、森の散策情報やイベント情報等が得られるなど、市民が森を利用しやすい機能を備えたウェルカムセンターを整備します。

平成 22 年度の実績		< 年度目標 >
【18 愛護会、森づくりボランティア活動拠点整備事業】		
森づくり団体の活動拠点の整備	1 箇所	1 箇所
森づくり団体の活動拠点の設計	1 箇所	1 箇所
【19 ウェルカムセンター整備事業】		
ウェルカムセンターの調査検討	調査検討	調査検討
ウェルカムセンターの設計	1 箇所	

#### 愛護会、森づくりボランティア活動拠点整備事業

- ・整備：もえぎ野ふれあいの樹林（青葉区）
- ・設計：横浜自然観察の森（栄区）




写真 もえぎ野ふれあいの樹林活動拠点（青葉区）

#### ウェルカムセンター整備事業

ウェルカムセンターの整備について、既存施設を活用した運営等、効果的かつ効果的な手法について検討しました。また、自然観察の森で1箇所設計を行いました。

<b>20</b>	<b>森の恵み塾事業</b>	:新規事業 (横浜みどり税充当)
-----------	----------------	---------------------

- 多くの市民を対象に、森づくりの関心を高め、ボランティア活動への参加の契機となるよう、樹林地の特性を活かした多彩なメニューによる森林教室「森の恵み塾」を開催します。

平成 22 年度の実績		< 年度目標 >
 森への関心を高める講座	34 回 (1,553 人)	3 拠点で実施

森の恵み塾事業の開催状況



写真 横浜の緑の未来を考えよう  
(5月26日開催、栄区/横浜自然観察の森)



写真 ふるさと港北まつり  
(10月16日開催、港北区/新横浜駅前公園)



写真 企業担当者対象生物多様性セミナー  
(9月15日開催、栄区/横浜自然観察の森)



写真 木に名札をつけよう  
(9月18日開催、金沢区/金沢自然公園)

参加者の声(参加者アンケート結果より)

- ・横浜にこれだけの緑があって安心しました。
- ・身近なところに自然があり、野生動物がいることを実感できました。
- ・これからも、いろいろな形で子供たちに自然の大切さを考える機会をつくってほしいです。

## 21 特別緑地保全地区指定等拡充事業

: 拡充事業

(横浜みどり税一部充当)

- 樹林地を保全するため、緑地保全制度の積極的な地区指定を進めます。
- 特別緑地保全地区の指定地等で、不測の事態による買取りの希望などに対応し、確実に担保します。

平成 22 年度の実績		< 年度目標 >	
● 緑地保全制度による新規指定等	117.5ha	138.1ha	
● 不測の事態による買取り希望等への対応	17.2ha	約 20ha	

## 樹林地の新規指定【詳細】

制度	新規指定	
	面積	地区詳細
特別緑地保全地区	28.6ha	・菅田町地区（神奈川区）1.1ha ・本牧十二天地区（中区）0.6ha ・今井町地区（保土ヶ谷区）0.6ha ・善部町地区（旭区）1.8ha ・天神の杜地区（緑区）0.9ha ・寺山町地区（緑区）0.7ha ・三保地区（拡大）（緑区）8.5ha ・舞岡地区（戸塚区）5.9ha ・鍛冶ヶ谷地区（栄区）2.9ha ・野七里地区（栄区）5.6ha
市民の森	10.1ha	・今宿地区（旭区）2.3ha ・長津田地区（緑区）2.9ha ・新橋地区（泉区）1.6ha ・【既指定地区の拡大指定】計 3.3ha
緑地保存地区	18.9ha	・85 件 18.9ha
源流の森	44.6ha	・98 件 44.6ha
地区計画緑地保全 ・寄附緑地等	15.3ha	・【地区計画緑地保全】13.7ha ・【寄附緑地】1.0ha ・【建築物緑化保全】0.4ha ・【農園付公園】0.2ha
【合計】	117.5ha	



写真 新橋地区（市民の森）（泉区）



写真 野七里特別緑地保全地区（栄区）

樹林地の買取り対応【詳細】

制度	地区	区
特別緑地保全地区等	獅子ヶ谷・師岡地区	鶴見区
	円海山地区	磯子区
	釜利谷地区	金沢区
	朝比奈地区	金沢区
	篠原町地区	港北区
	三保地区	緑区
	上山・白山地区	緑区
	寺家地区	青葉区
	住吉地区	青葉区
	名瀬北地区	戸塚区
市民の森、ふれあいの樹林	追分地区	旭区
	峯地区	磯子区
	綱島地区	港北区
	熊野神社地区	港北区
	新治地区	緑区
	もえぎ野地区	青葉区
	深谷地区	戸塚区
	鍛冶ヶ谷地区	栄区
【合計】	18 地区 17.2ha	



写真 名瀬北地区(特別緑地保全地区)(戸塚区)




写真 峯地区(市民の森)(磯子区)



## 22 よこはま協働の森基金制度の見直し

・事業費のないもの

- 市民に身近な小規模樹林地を、市民と行政との協働で取得し保全する「よこはま協働の森基金制度」について、より活用される制度とするため、適用条件の緩和を中心に見直し、制度を一部改正しました。

平成 22 年度の実績	< 年度目標 >
 適用条件の緩和を中心に見直し、制度の改正を実施	見直し案確定

## 「よこはま協働の森基金事業」の概要

## ○よこはま協働の森基金事業とは

市民に身近な小規模樹林地を市民と行政との協働により保全するため、「よこはま協働の森基金」を創設し、市民の皆様が自主的に集めた資金と「基金」からの拠出金とをあわせ、樹林地を取得する制度です。一団のまとまりのある良好な樹林地が対象です。

## ○市民の皆様のご活動

- ・身近な樹林地の保全を発意し、土地所有者の方々から売却の承諾を得ます。
- ・募金活動を行い、取得費用の1割以上を集めます。
- ・取得後、樹林地の管理を行います。

## 見直しの背景

制度の導入以来、実績が1箇所にとまっていることから、より活用される制度とするため、「市民緑地」制度など、緑地保全制度全体の拡充と併せて、見直しを進めてきました。




写真 保全された樹林地（金沢区）

## 改正内容の比較

項目	改正前	課題	改正後
樹林地の面積基準	1,000㎡以上 5,000㎡未満	買取制度のある特別緑地保全地区の面積基準を、平成 21 年度に 1,000 ㎡に引き下げたことで、面積基準が重複したことや、小規模樹林地の保全に対応すること	<b>300 ㎡以上 1,000 ㎡未満</b>
	一団が 5,000 ㎡以上の大きな樹林地は対象外	面積基準を超える大規模な樹林地の一部は、事業の対象としない	<b>1,000 ㎡以上の樹林地の一部（300 ㎡～1,000 ㎡）も対象</b>
取得費用	取得費用の1割以上を住民団体が負担	取得価格が高額な場合、取得に当たり住民団体の負担感が大きい	取得費用の1割以上を住民団体が負担し、 <b>上限額を 500 万円とする</b>
	・住民団体の負担金 ・「よこはま協働の森基金」からの拠出金	取得財源は、住民団体の負担金と基金からの拠出金のみで、他の財源が導入できない	現行に加え、 <b>国費等の他の財源も導入を可能とする</b>
取得後の維持管理	住民団体が主体の維持管理	取得後の維持管理における住民団体の負担感がある	住民団体は、 <b>日常的な管理に限定する</b>

23	国への制度要望	∴事業費のないもの
----	---------	-----------

- 相続税の納税対象に緑地が含まれる場合は、緑地の保全を優先すること、また、緑地保全等に係る税制上の負担軽減措置の創設・拡充等を国に対し要望していきます。

平成 22 年度の実績	<年度目標>
 緑地保全につながる制度の創設・拡充について、7月、8月に要望を実施	推進